

「ガウガウ♪ オマエの中にいっぱい中出しして祝福してたから、立派な孕みヨメになれたぞ♡」

「ハツ♡ ハツ♡ いい二オイ♡ これでオマエもガウのナカマ。孕ませられる体になつた♡ ガウのコドモ、産めるぞ?♡ よかつたな♡ これからどんどん増やす♡ わおおん!♡」

「ハツ、ハツ、ハツ♡ ハア♡ ちゃんとツガイになれた♪ オマエ嬉しい? 嬉しい?♪」

「…スンスン…がうがう♪ オマエ、発情して匂い、いっぱい出てるぞ♡ 今までで一番濃い、匂いしてるので♪」

「ガウガウに寄るだけで、発情する? わおん!♡ ガウのこと誘ってる♡ オマエの体、犯されたがつてる♡ ハツ♡ ハツ♡ ハツ♡ ガウ、もうガマンできない♡ すぐにでも交尾、したい♡」「アハア♡ オマエ、ちっこいチンポ、ギンギンになつてると、勃起して匂い振りまいてる…♡ オマエはガウのチンポ欲しくてたまらないんだ♡ 体だけじゃなくて、オマエも求めてるの、分かるぞ♡ 今までにたくさん交尾したからな♡ ガウとの交尾、気持ちいいの体覚えてる♡ わうわう♡」

「すぐに、入れてやる♡ 安心しろ♡ 今日はいつもより、いっぱい交尾するぞ♡」

「ハツ♡ ハツ♡ ハツ♡ ハツ♡ ハツ♡ ハツ♡ ハツ♡」

「今日の獲物も全部食べだし、水浴びも済ませた♡ あとは、交尾するだけ♡」

「もつと近くに寄る♡ オマエの美味しそうな匂い、もつと嗅ぐ♡ …すんすん、はあ、ハツ♡ ハツ♡ ハツ♡ オマエ、交尾するたびに発情の匂い濃くなつてきてる♡ もう、立派な仲間♡」

「すんすん…オマエの匂い嗅ぐだけで、すぐにガマンできなくなりそう♡ もう襲いたくなつてると、交尾して♡ オマエの奥にせーし、いっぱい出す♡ オマエが孕むまでずっと出してやる♡」「オマエもう、コドモ産めるからな♡ たくさん産ませる♡ ハツ♡ ハツ♡ ハツ♡ ハツ♡」

「がうがう♡ 見ろ、ガウのふたなりチンポはもうこんな大きくなつてるぞ?♡ ケツまんこに入れたくて、入れたくて…♡ わオン!♡ ハツ♡ ハツ♡ ハツ♡」

「オマエのチンポとおんなじだ♡ ああ♡ すづく大きくなつてる♡ 美味しそお♡ ぱくつ♡ んんつ♡ あうん♡ ハツハツハツ…んんウ♡ オマエもガウのチンポ、ジユボジユボして♡」「ぱくちゅう♡ んう♡ んじゅんじゅう、じゅるびゅう、んんう♡ ハツ、ハツ、ハツ、ハツ♡ ガウも、オマエのチ

ンポ、いっぱいジユボジユボして、せーし、出す♡ ぱくちゅう、んんう!♡」

「んじゅるう、じゅぶ、じゅつぶ、んんう♡ んオ♡ おおん♡ はあつ、はあつ、んんう♡ ちゅう、ちゅつ、ちゅつ、ちゅるう、ちゅつくつ、ちゅむむちゅぶつ、ちゅぱりゅつ、んウ♡ ちゅつくつ、んんオ!♡」「ハツ、ハツ、ハツ♡ オマエ、チンポ舐めるの、上手くなつた♡ んつぐウ♡ ガウ、負けないぞ?♡ ハアツ♡ ハアツ♡ ハアツ♡ 先に、オマエのせーし出させる♡ ちゅつぶうつ、んんう♡ んじゅんじゅう、ぬじゅるう、じゅつぶ、んオ♡ んじゅぶちゅう、んじゅりゅう!♡」

おつ、おオ♡ ハツ、ハツ、ハツ、あオ♡ おウ♡ あはア♡」

「せーし♥ 上がってきたぞ♥ うつぐウ♥ 」のまま、

「？！喉奥でガウのチンポのさきうぼ締め付けてかわいいヤツ。♥
ちゅるちゅつ、ちゅぱつ、ちゅぱつ、ちゅぱりゅつ、じゅぶじゅぶじゅぶつ、んづ、んんんづ、んづぐウ！」

んんウウ あ、あウン 出せ、出せ セーし じっぽい、出せー！

じゅまおう！ じゅまじゅまじゅま！ んぐウツ♥ んつ、んん、んんううううううううううウウウウ

! ! !
♥ ♥ ♥

「ふはあ…ああ…♡ すつゞ」ハセーし出た、全部、ガウも飲めたぞ♡」

「ガウのせーし、オマエは飲めた?」
「デカいからな」
「オマエもせーしの量、増えてた」
「ガウの相手できるのオマエだけ」

「わウン!」
「安心しろ」
「ハツ、ハツ、ハツツ」
「ずっと一緒にいた証拠」
「ガウと同じになれた証拠」
「ガウとの交尾」
「わウわウ!」
「多すぎて無理?」
「ガウのふたなりチノボの方が
「アハア」
「でもすぐに慣れる」
「ガウには全然敵わないぞ」
「それには…」
「それには…」

「もう分かつてゐるよな? ハウ、オマエのケツまんこを孕ませたくてたまらない……アハア オマエもおねだりするの、上手になつた メス穴、ちらつかせるのイイ」

「オマエのせいで、ガウも発情してる♡ もちろんガマンなんかしないぞ♡ わうわう♡ このまま交尾、する♡ ワオオン！♡ ガウに襲わせるために、誘惑したオマエのセキイン♡ 押しつぶして、ふたなりシンポでかき混ぜてやる♡」

「覺悟しろ。ハツ、ハツ、ハツ。種付してやるゾ。あおオン！」
ああ、イイつ、イイぞ。んんウ。うつぐつ。

「あウ♡ おオん！♡ ハツ、ハツ、ハツ♡ んつぐウ♡ やつぱり、オマエのケツまんこ♡ 格別♡ ガウのふたなりチンポの形に、メス穴がぴつたりハマってる♡ ガウのせーし、搾り取るためだけの穴♡ スゴイ♡ んうぐつ♡ うウ♡ はあ、はあ、はあ、んウ♡ あオん！♡ おつ、おウ♡ おオん！♡」「んつ、んんうウ♡ あア♡ ガウのチンポ、オマエの中に、全部入つていくぞ♡ んつぐウ♡ おつ、おウ♡ おウんつ♡ はあは、んぐつ、んつ、んお♡ おつ、おおんう♡」

「ハツ、ハツ、ハツ、ああ、すごくイイぞ♡ オマエのケツまんこ、スゴい♡ 中で動いてセーしねだつてる♡ ハハア♡ オスのチンポに媚びるいいメス穴♡ もう普通の二ングンのチンポなんかじや満足できなイゾ♡」

「オマエのケツまんこに食べられるの、気持ちよすぎ♡ んつ、うつぐウ♡ ハツ、ハツ、ハツ♡ 最初の頃も入れる」とは、で、きてたケド、もうとむといい穴になつていつてる♡」「すばすば、じゅぶじゅぶ♡ 美味しそうに簡単に食べちゃつてる♡ 食べてるのガウだけじやない♡ でも、イイ♡」

「気持ちい♡ これスキ♡ あつ♡ あう♡ ガウ、オマエとの交尾、スキ、スキ♡ んつぐウ♡ あつ、あウン！♡ あつ♡ あつ♡ あウ♡ わおん！♡ すづづく、気持ちい♡ ガウ、このメス穴スキ♡ スキい♡」

「狩りのときも、いつでも、オマエとの交尾のコト、考えてる♡ 何回ヤつても飽きない♡」

「回数することに、どんどん気持ちいいの止まらなくなる♡ オマエの体とガウ、相性いい証拠♡ アハア♡ だから、いっぱい、犯す♡ どぶどぶ♡ セーし出して♡ もつと、ガウ好みにする♡」「ハツ♡ ハツ♡ ハツ♡ あア♡ イイ♡ ガウ、もう止まらない♡ わうわう♡ ううん！♡ ズボズボして♡ 中出しして♡ 祝福、いっぱいして♡ ううん！♡ ハツ♡ ハツ♡ ハツ♡」

「ガウ専用のメス穴♡ すづづく、気持ちいい♡ もう離さない♡ オマエ、ガウだけのモノ♡ わおん！♡」

「ハツ、ハツ、ハツ♡ うつ、うウ♡ おんう！♡ うつぐウ♡ あウ♡ あオん！♡」

「ハツ♡ ハツ♡ んつ♡ んんウ♡ あうん♡ ハツ♡ ハツ♡ ハツ♡ ハツ♡ ハツ♡ あウ♡ アオオオン！♡」「オマエも気持ちよくなつてるので、分かるぞ♡ うつぐウ♡ んんう♡ 上から押しつぶされて♡ チンポで貫かれて♡ パンパンされて♡ 発情してる♡ んつ、ふウ♡ ふウ♡ ううんつ♡」

「アハア♡ ガウのふたなりチンポに全部伝わってきてる♡ ハツ、ハツ、ハツ♡ いつもより、締め付けてるの♡ バレバレだぞ♡ 思いつきり、ズボズボされて、気持ちいいの、止まらない？♡ ガウのチンポ、スキ？♡」

「アハア♡ オマエ、メスの顔してる♡ すづづくトロトロ♡ 鳴き声まで美味しそおだ♡ もつと、もうとズボズボする♡ わうわう♡ んんウ♡ いっぱいチンポ突いて、オマエもせーししさせてやるぞ♡」

「ハツ♡ ハツ♡ ハツ♡ あつ♡ ハアツ♡ はあん♡ オマエはガウのメスだからな♡ いっぱいコドモ産む♡ ハツ♡ ハツ♡ ハツ♡ ハツ♡ あウ♡ 孕むまで♡ 交尾、するウ♡ んんんウ！♡」

「んお♡ おつ♡ おつぐつ♡ おオ♡ ガウもうせーし出る♡ 出るぞ♡ うつぐウ♡ おつ、おオ
ん！♡ ハツ♡ ハツ♡ ハツ♡ ハツ♡ 全部出す♡ メス穴ジユボジユ示して♡ オマエ孕ませるウ♡ んん
ウ！♡ あつ♡ あつ♡ ああ！♡ うつ！♡ ううん！♡ 孕めつ♡ 孕めつ♡ ガウのコドモ、孕め
エ！♡」

「んんウ♡ おオ♡ おおオん！♡ おつ！ おおおおつ！ うつぐウ♡ うウつ♡ うおおおおおおおん
つ！♡」

「ハツ♡ ハツ♡ ハツ♡ ハツ♡ ハツ♡ ハツ♡ あア♡ オマエもせーし、出たか♡ ハア♡」「
「種付されながらせーし出してる♡ ガウの腹、オマエのせーしでドロドロ♡ …すんすん…あア♡
オマエの濃い匂い、スゴイ♡ わうわう♡ こんなの、発情するに、決まってる…♡ ハツ♡ ハツ♡ ハ
ツ♡ わオん！♡」

「今日は朝まで、オマエと交尾、するぞ♡ 今日で、絶対孕ませてやる♡ がうがう♡ わおん♡
オマエも嬉しい、だろ？♡ ハツ♡ ハツ♡ ハツ♡ ガウ、絶対オマエのコト、幸せにするぞ♡」「
「ガウたちの群れ、作る♡ コドモ、たくさん作る♡ わうわう！♡ オマエにガウのコドモ、十人は
産ませるからな♡」

「ハツ♡ ハツ♡ ハツ♡ まずは一人：いや二人、だな♡ ガウとオマエ相性イイ♡ だから、一回で
二人ずつ産めるハズ♡ あおオん！♡ いっぱい交尾する♡ メス穴に入り切らないくらい、せーし、
じぶぶじぶ出してやるぞ♡」

「覚悟、しろ♡ わうわう♡ あおオん！♡」